

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-179438 (P2004-179438A)  
 【公開日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-024  
 【出願番号】特願 2002-344731 (P2002-344731)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 L 33/00

H 0 1 L 23/28

H 0 1 L 23/48

【F I】

H 0 1 L 33/00 N

H 0 1 L 23/28 D

H 0 1 L 23/48 Y

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 6 月 14 日 (2005.6.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

上面に発光素子を搭載し収容する凹部を有する絶縁基体に、前記凹部の底面から下面にかけて前記発光素子の電極が電氣的に接続される配線層を形成するとともに、前記凹部の内周面に金属反射層を前記凹部の前記底面から離間して被着させて成る発光素子収納用パッケージであって、前記凹部の前記内周面は、前記凹部の前記底面上に形成された垂直面と、該垂直面の上側で前記絶縁基体の上面にかけて外側に広がっている傾斜面とから成り、前記金属反射層は、前記傾斜面に被着されていることを特徴とする発光素子収納用パッケージ。

【請求項 2】

前記垂直面は、前記発光素子の厚みより低いことを特徴とする請求項 1 記載の発光素子収納用パッケージ。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 記載の発光素子収納用パッケージと、前記凹部に収容され搭載されるとともに前記配線層に電極が電氣的に接続された発光素子と、該発光素子を覆う透明樹脂とを具備したことを特徴とする発光装置。